

法人理念	心と心がここで出会い通い響き合う 大切にしよう「信じる心」 伝えよう「ありがとうの気持ち」 感じよう「つながる幸せ」 みんなが笑顔でいたいから立正たちばな会は「心の居場所」であり続けます		
支援方法	基本的な生活習慣の習得、及び集団生活に適応できるよう遊びや野外活動を通して一人ひとりに合った適切な支援や療育を行う		
営業時間	ほっぷ/9:30~11:30 すてっぷ/11:30~13:00 じゃんぷ/13:30~15:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する。 生活の中で様々な遊びを通して学習できるように物的環境を整える。また、個々の障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく伝えられるよう構造化する。健康な心と体を育てるために大切な食事。食事マナー、バランスの良い食べ方やお箸やスプーンの持ち方などを学ぶ。(食育) 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 保有する視覚・聴覚・触覚を十分に活用できるよう、遊びを通して支援する。 感覚や認知の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整の支援を行う。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援する。 感覚認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、および適切行動へ対応の支援を行う。 	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 指さし、身振り等を用いたり、個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、環境の理解と意思の伝達ができるようコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 各種の文字・記号・絵カードのコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 集団に参加するための手順を理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> あゆみの部屋を利用し、子どもの発達状況や特性理解など家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助。 親子での活動(講演会、体幹教室、陶芸教室、みにみに運動会)の実施。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 保育園と連携をし一人ひとりの子どもに対し特性を踏まえ一貫した支援を行うため、情報共有などを行う。 進路や移行先の選択について相談援助や様々な準備の支援をする。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 子供が通う保育所等や学校等との情報共有や連携。 要保護児童対策地域協議会でのケース会議。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の受講及び復命・講師による、講習会への参加及び復命。 園内研修
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 親子療育(講演会、体幹教室、陶芸教室、みにみに運動会、参観日、等) 		